

## 水族館としての観点から見た兵庫生洲に関する報告

—兵庫生洲は世界最古の水族館になり得るか—

神戸大学山口研究室 仁部匠

かつて兵庫津にはその旅客たちの中で名所であった兵庫生洲があった。この生洲は食料としての魚の保存目的に留まらず展示目的を兼ね備えており、まるで水族館のような側面を持っていたことが判明している。また、現在世界最古とギネス記録に登録されている水族館は 1853 年にロンドンに設立されたものであるのに対し、これは 1700 年代から存在していたことが文献により明らかになっている。よって世界最古の水族館と定義されうるかについて検討した報告を行う。

### 概要

1. 水族館の定義
2. 和楽園について
3. 兵庫津生洲について
4. 兵庫津生洲は水族館に定義されうるか

### 1. 水族館の定義

#### (1)水族館 (aqualium) の語源

アクアリウム (英: aquarium) は水生生物の飼育設備を指す。水族館のような大型施設から個人宅に設置するような小規模のものにまたがる概念である。英語の原義では公的施設の水族館と、個人などの趣味の範疇にあるものは明確に区別されず、要するに水生生物の飼育施設・設備を指す。

1830 年、「水生生物を育てるための庭や他の場所にある人口の池」という用法で、ラテン語の中性形 *aquarius* 「水に関する」から派生した。ラテン語での名詞 *aquarium* は「家畜の飲み水場」を意味していた。英語では、「生きた水生動物を屋内で飼うための水が入ったガラス製の容器」という意味は 1853 年に登場した。世界最古の水族館は 1853 年にロンドン動物園に設立された「フィッシュハウス (Fish House)」であり、これは水槽を台の上に並べて展示するものであり、これは権力を誇示するために用いられたと考えられている。

参照：Onkine Etymology Divtionary 『「aquarium」の語源、由来・英語語源辞典・エティモンライン

<https://www.etymonline.com/jp/word/aquarium>

#### (2)水族館を水族館たらしめる要素

水族館という言葉に厳密な定義は存在しない。以下、水族館という言葉を満たす為の必要条件となる要素を考える。

---

### ・博物館法 第2条 定義（一部を抜粋・整理して記載）

「この法律において『博物館』とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学に関する資料を収集、保管し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究をする機関」

（文化庁より引用）

現在の日本においてはこの博物館法における「自然科学」の部分を担う博物館の一部が水族館であると一般的に解釈されている。

---

### ・ICOM（国際博物館会議、International Council of Museums）による解釈

次の機関を博物館とみなす。

博物館は、社会に奉仕する非営利の常設機関であり、有形及び無形の遺産を研究、収集、保存、解釈し展示する。一般に公開された、誰もが利用できる包摂的な博物館は、多様性と持続可能性を促進する。倫理的かつ専門性をもって、コミュニティの参加とともにミュージアムは機能し、コミュニケーションを図り、教育、楽しみ、考察と知識の共有のための様々な体験を提供する。

（ii）植物、動物の生物標本を収集・展示する機関、即ち植物園、動物園、水族館、ビバリアなど

UNESCOの傘下である、国際博物館会議（International Council of Museum 通称：ICOM）という世界中の博物館や博物館専門家によって構成される国際的な非政府組織があります。1989年9月5日にオランダ・ハーグで行われたICOMの第16回総会では上記のような規約がある。故にICOMにおいても水族館は博物館の一部であると解釈されている。

（新版 水族館学 鈴木克美・西源二郎 著 2010年発行 より引用）。

---

### ・UNESCO（国際連合教育科学文化機関、United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization）による解釈

社会とその発展に奉仕する非営利の恒久的な施設で、公衆に開かれており、教育と研究と娯楽を目的として人類と環境に関する有形無形の遺産を収集し、保存し、調査し、伝達し、展示するもの。

（UNESCO 「ミュージアムとコレクションの保存活用、その多様性と社会における役割に関する勧告」における定義より引用）

---

### ・JAZA（日本動物園水族館協会）による解釈

日本動物園水族館協会（Japanese Association of Zoos and Aquariums 通称：JAZA）では、動物園や

水族館には種の保存、教育・環境教育、調査・研究、レクリエーションの4つの役割があるとしている。(4つの役割-動物園と水族館-日本動物園水族館協会より引用)

---

水族館を構成するために必要な要素を考察する。まず、以上の記述に従って水族館を博物館であるとみなす。そこで博物館に求められる要素は、「社会に奉仕する非営利の常設機関であり、かつ調査及び娯楽を目的として有形及び無形遺産を保存し、一般に展示、伝達を行う」機関であるということだと考えられる。それが建築物である必要はなく、この要素を満たしうるものが博物館と定義される。

参照：サカナト『<水族館>に定義はない？ 法律・国際的組織・業界団体の解釈は』

<https://sakanato.jp/5281/2/>

## 2. 和楽園について

神戸市和田岬の施設遊園地「和楽園」に設置された日本初の魚を目的とした本格的な水族館について以下調査内容を記述する。

現在の「須磨海浜水族館」の起源とされている和楽園の水族館は、明治30年（1897）、神戸の和田岬で行われた「第2回水産博覧会」に合わせて設置が行われ、本格的なろ過装置設備などを兼ね備えた国内初の水族館として位置づけられている。

館内には2個のジオラマと29個の放養槽、9個の保健槽があったとされている。これは兵庫生洲の後進と言えなくもない。



写真：水産研究・教育機構国書資料デジタルアーカイブ『第二回水産博覧会附属水族館報告』より引用

[https://nrifs.fra.affrc.go.jp/book/D\\_archives/2012DA020/jpegver.html](https://nrifs.fra.affrc.go.jp/book/D_archives/2012DA020/jpegver.html)

参照：goo ブログ『神戸市和田岬の私設遊園地「和楽園」に設置された国内初の本格的な水族館』

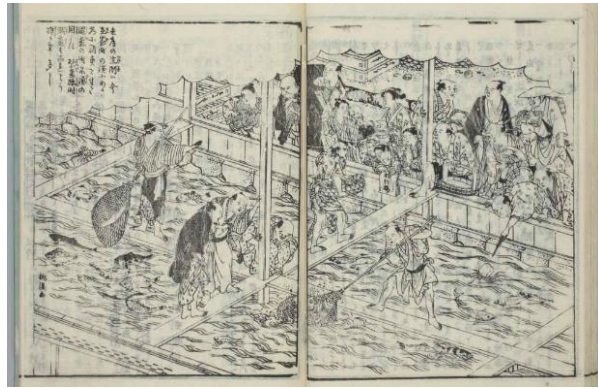
<https://blog.goo.ne.jp/chiku39/e/f86627018cc093b318e97121fe77f19b>

### 3. 兵庫津生洲について

生洲は現在の今出在家町に位置したとされており、南浜公園には「史蹟 生洲跡」と書かれた碑が右に示す図とともに建てられている。

寛政8(1796)年の「摂津名所図会」では兵庫の生洲に関する記述が残されており、挿絵では「兵庫の生洲は今出在家の浜にあり。常に活魚をいけてしけの時不漁の用とす。禁裏臨時調貢もこれより捧ぐる事多し。」と左上に書かれている。潮水をたたえた生洲には、鯛や鱧など様々な魚が買われていたとされる。不漁の時や朝廷への貢物としてもこの生洲の魚が用いられたようだ。

(国書データベース『摂津名所図会』p.510より引用)



次ページには兵庫生洲が見出しとされた文章が書かれていた。

「兵庫生洲 当津南浜今在家町にあり。長さ十三間、中四間ばかり。四方を囲みて、上に雨覆の屋根あり。中に潮水を湛へ、鯛・鱧・鱸および諸魚を多く放ち生けて、つねに貯ふ。これを兵庫の生魚といふ。禁裏調進の手当とす。往来の旅人、ここに来たつて目を悦ばしめ、奇として時をうつす。」

ここでは生洲が当時置かれていた建物の様子と、観光の名所として旅人に人気であったことが書かれている。

(国書データベース『摂津名所図会』p.511より引用)

兵庫生洲に関する記述は他には見当たらず、看板に記載されている『摂陽群談』には兵庫の名物が記されているのみであった。

### 4. 兵庫津生洲は水族館に定義されうるか

以上3つの観点から兵庫生洲は水族館として定義されうるかどうかについて考察を施す。水族館の定義については先程、「社会に奉仕する非営利の常設機関であり、かつ調査及び娯楽を目的として有形及び無形遺産を保存し、一般に展示、伝達を行う」というものと定義づけを行った。これに基づいて摂津名所図会等による記述をもとに比較を行う。まず、社会に奉仕する非営利の常設機関であるかどうかについて、兵庫生洲はこれを十分に満たすと考えられる。生洲は不漁の時に備えた保管庫としての役割や朝廷に対する貢物を保存していたという観点から、社会への奉仕性と常設機関であるという点が保証される。更に、観光の名所として旅客が一般に観賞出来たことから、生洲が営利目的でないことも十分理解できる。

次に、「調査及び娯楽を目的として有形及び無形遺産を保存し、一般に展示、伝達を行う」に対し生洲が妥当性を満たすかどうかについて考察を行う。まず調査目的についてであるが、これは今確認出来

る資料からは真偽は十分に確認することが出来ない。もし生洲が生態における何らかの調査に貢献を果たしていることが証明されればこの点は満たされる。一方娯楽目的としては、観光客の名所となっていたことから、娯楽を目的として有形及び無形遺産を保存し、一般に展示、伝達を行っていたことが担保される。

定義	Fish House	兵庫生洲	和楽園
社会に奉仕する非営利の常設機関である。	○	△ (不漁の時、貢物の保管庫であるという点から言えなくもない。)	△ (公開期間は水産博覧会の期間のみ)
調査を目的として有形及び無形遺産を保存している。	○	× (現状不明)	○ (当時の近海及び植民地で捕れる魚を記録する役割。)
娯楽を目的として有形及び無形遺産を保存している。	○	○ (観光名所として有名)	○
一般に展示、伝達を行っている。	○	○	○

以上より、兵庫生洲が水族館と定義されうるかについて調査・研究を目的として魚が保存されていた側面があることが明らかになれば、兵庫生洲は水族館であると十分に言えることが出来るであろう。

また、もし兵庫生洲が水族館であると認められた場合世界最古の水族館となりうるかどうかについて、兵庫生洲と同じように娯楽性を備えた常設の展示機関が発見されない限りは世界最古といえるのではないかと考えられる。